

疫学研究に関する情報公開

筑波大学医学医療系臨床医学域腎臓内科学では、本学倫理委員会の承認を得て、下記の疫学研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成29年9月

筑波大学医学医療系臨床医学域腎臓内科学
教授 山縣 邦弘

【研究課題名】

国保データベース(KDB)の帳票に基づく慢性腎臓病(CKD)の実態調査

【研究期間】

平成27年9月～平成31年3月

【研究の意義・目的】

慢性腎臓病(CKD)はわが国の成人人口の約13%を占め、末期腎不全・心血管病の発症進展や死亡の危険病態となる国民健康上の重大な脅威であり、その予防や進展阻止のために医療連携システムの構築が望まれます。本研究は全国規模の国保被保険者の健診・医療レセプト・介護レセプトのデータを解析することにより、日本人のエビデンスに基づく汎用性のあるCKDの診療基準を作成することを目的とします。

【研究の方法】

以下の研究は、平成27年～29年度日本医療研究開発機構研究（腎疾患対策実用化研究事業）「慢性腎臓病（CKD）進行例の実態把握と透析導入回避のための有効な指針の作成に関する研究（REACH-J）」（研究代表者：山縣邦弘）の一部として実施されます。本研究では、各自治体の国保被保険者が有する国保被保険者情報を対象とします。研究者は、複数人分の情報をまとめた統計情報（「帳票」と呼ぶ）に基づき解析を行うため、個人情報保有することはありません。

1)CKD進行例の有病率および予後に関する調査研究:

国保被保険者の健診・保健指導、医療レセプト、介護レセプトの関連情報は、各都道府県の国保連合会より委託をうけて公益財団法人国保中央会が統計処理を実施しています。現在、国保データベース(KDB)として構築されており、各保険者等(各自治体)へ情報提供され、地域の健康増進のために役立てられています。本研究では、KDBに存在する健診結果からCKD患者数および分布を算出し、その予後(死亡・心血管病の発症・人工透析の導入等)を医療レセプト等から分析して、我が国のCKD進行例の実態を明らかにします。

2)分担研究者、研究協力者の提案によるCKD関連疫学研究テーマの個別解析

研究目的に即した個別のテーマの提案を受け、集積した特定健診等データを用いて分担して詳細な解析を行います。

【研究組織、研究機関名】

研究責任者	(所属) 筑波大学医学医療系	(職) 教授	(氏名) 山縣邦弘
研究分担者	(所属) 福島県立医科大学	(職) 准教授	(氏名) 旭浩一
同	(所属) 九州大学大学院	(職) 教授	(氏名) 鶴屋和彦
同	(所属) 筑波大学医学医療系	(職) 教授	(氏名) 近藤正英
同	(所属) 筑波大学医学医療系	(職) 准教授	(氏名) 斎藤知栄
研究協力者	(所属) 福島労災病院	(職) 院長	(氏名) 渡辺毅
同	(所属) 奈良県立医科大学	(職) 教授	(氏名) 笠原正登
同	(所属) 豊見城中央病院臨床研究センター	(職) センター長	(氏名) 井関邦敏
同	(所属) 山形大学大学院	(職) 教授	(氏名) 今田恒夫
同	(所属) 筑波大学医学医療系	(職) 講師	(氏名) 甲斐平康
同	(所属) 筑波大学医学医療系	(職) 講師	(氏名) 永井 恵

【研究者が保有する個人情報について】

本研究の研究者は、市町村名・郵便番号・生年月日の個人情報を含めた情報を研究目的のために保有することはありません。

【オプトアウトについて】

研究対象者へ研究情報の通知・公開がなされた上で、研究対象者が拒否できる機会を保障することをオプトアウトといいます。本研究の対象となることを拒否する場合は、下記問い合わせ先へご連絡ください。

【本研究に関する問合せ先】

○研究内容に関する問合せの窓口

〒305-8575 茨城県つくば市天王台1-1-1

国立大学法人筑波大学医学医療系臨床医学域腎臓内科学

担当 山縣 邦弘

電話・FAX: 029-853-3202

E-mail: reach-j@md.tsukuba.ac.jp